

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
〒100-6432
東京都千代田区丸の内2丁目7番3号東京ビルディング

プレスリリース

報道機関 各位

JPモルガン・アセット・マネジメント 「日興JFアジア・ディスカバリー・ファンド」を4月に設定 — アジア経済圏の成長の恩恵が期待できる「ベストアイデア」銘柄を発掘 —

[東京 2012年3月16日]

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(所在地:東京都千代田区、社長:猪股伸晃)は、本日、「日興JFアジア・ディスカバリー・ファンド」の募集を4月2日より開始すると発表しました。当ファンドは、当初申込期間を4月2日から4月24日、設定日を4月25日とし、SMBC日興証券株式会社(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:渡邊英二)で販売されます。

「日興JFアジア・ディスカバリー・ファンド」は、自国のみならずアジア全体の成長を取り込みながら伸びていく、日本を含むアジア各国の企業の株式に主として投資するファンドです。当ファンドは、徹底的に企業分析を行い、アジア経済圏の成長をテーマに、その時々々の市場環境にあわせた「ベストアイデア」銘柄^{*1}をいち早く発掘することを目指します。運用においては、アジア地域だけでなく、先進国から新興国までグローバルに張り巡らされた調査網を活用します。

成長が期待されるアジア経済圏で事業拡大する企業を発掘

アジアは、中国やインド、ASEAN(東南アジア諸国連合)などの経済規模の拡大によって、世界経済の中でも相対的に高い成長が期待されています。多くのアジアの企業が、この成長が期待される市場において業績を拡大させており、その中には、自国内のみならず他のアジアの国で活躍する企業も数多く登場してきています。

日本にとってもアジア各国の成長は魅力であり、地理的に近いアジアに、欧米並みの経済規模を誇る市場が形成されつつあることで、日本の貿易額が大きく伸張することが期待されます。日本企業の中にも、企業努力や経営方針により、アジア経済圏で業績を上げている企業があります。こうした状況を踏まえ、当ファンドは日本株式を投資対象に加え、真の意味でアジア全体の成長の恩恵を享受することを狙っていきます。

当ファンドにおいて投資するのは、その時々々の市場環境にあわせた「ベストアイデア」銘柄です。昨年、アジアの株式市場はインフレ懸念や欧州の債務問題などの悪材料から下落しましたが、そうした局面においても、個別に見ると株価が上昇する銘柄を見出すことは可能と考えられます。さらに、株価の上昇局面において、市場の上昇率を上回るパフォーマンスを発揮する銘柄も存在しています。当ファンドは、様々な市場局面において、市場よりも上昇が見込まれるこれらの「ベストアイデア」銘柄をいち早く発掘することを目指します。

運用体制

「日興JFアジア・ディスカバリー・ファンド」のマザーファンドである「JFアジア・ディスカバリー・マザーファンド(適格機関投資家専用)」の運用においては、「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループ内のアジア・太平洋地域グループ(PRG)の総合力を結集します。PRGは、アジア株式運用で40年以上の実績を持つ、アジアで最も経験豊富な運用チームのひとつです。当ファンドの運用担当者は、PRGの調査能力、分析結果を活用して投資判断を行い、当ファンドの運用に尽力してまいります。

^{*1}「ベストアイデア」銘柄とは、より株価の上昇が見込まれると判断される銘柄をいいます。ただし、当該銘柄の価格の上昇を保証・示唆するものではありません。

(ファンドの概要については、添付の商品概要をご参照下さい)

* * *

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社は、日本市場に最も早く進出した外資系資産運用会社のひとつです。日本の金融業界の規制緩和と共に1987年に投資一任契約業務の認可取得、外資系資産運用会社の第一陣として、1990年に投資信託委託会社を設立し、また公的年金基金の運用委託など業界の先駆けとなっています。投資家の多様化するニーズに対応すべく、株式、債券、転換社債、オルタナティブ投資等、あらゆる資産クラスにおいて卓越した運用能力を発揮し、リーディングカンパニーならではの資産運用サービスを提供します。

「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループはJPモルガン・チェース・アンド・カンパニー傘下の資産運用部門です。国際的な資産運用の分野で130年以上にわたる実績があり、運用総資産残高約1兆3,300億米ドル(約110兆円)*を有する世界最大規模の資産運用サービスグループです。世界41拠点到ネットワークを持ち、日本ではJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社を通じて顧客にサービスを提供しています。

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー(NYSE: JPM)は、世界60カ国以上**に拠点をもち、総資産2.3兆ドル**を有する世界有数の金融サービス会社です。投資銀行業務、個人向け金融サービス、中小企業向け銀行業務、コマーシャル・バンキング業務、金融取引管理事務業務、資産運用業務、プライベート・エクイティ業務において業界をリードしています。JPモルガン・チェースは、ダウ・ジョーンズ工業株平均の構成銘柄として採用されており、法人向けの「J.P.モルガン」、および個人向けの「チェース」のブランドの下で、世界有数の事業法人・機関投資家・政府機関、並びに米国の個人のお客様に金融サービスを提供しています。JPモルガン・チェースの情報はwww.jpmorganchase.comにてご覧いただけます。

数値は2011年3月末現在

*1米ドル= 82.88円で換算

**2011年12月末現在

商品概要

| | |
|-------------------|--|
| ファンド名 | 日興JFアジア・ディスカバリー・ファンド |
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| ファンドの目的 | アジア各国の企業が発行する株式を実質的な主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的とします。 |
| 為替ヘッジ | 為替ヘッジは行いません。 |
| ベンチマーク | ありません。 |
| 運用の外部委託先 | ありません。 |
| 購入価額 | 当初申込期間：1口当たり1円とします。 継続申込期間：購入申込日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 換金価額 | 換金申込日の翌営業日の基準価額とします。換金時に手数料はかかりません。 |
| 購入の申込期間 | 当初申込期間：2012年4月2日から2012年4月24日までとします。 継続申込期間：2012年4月25日から2013年7月23日までとします。 継続申込期間は、その満了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。 |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 以下の事情により基準価額が確定できない場合は、購入・換金申込みの受付を中止することがあり、また既に受け付けられた購入・換金申込みの取消しができることがあります。 ・有価証券取引市場における取引の停止 ・外国為替取引の停止 ・その他やむを得ない事情 |
| 設定日 | 2012年4月25日 |
| 信託期間 | 2012年4月25日から2022年4月25日（休業日の場合は翌営業日）まで |
| 決算日 | 毎年4月24日（休業日の場合は翌営業日）です。 毎年1回の決算時に、委託会社が分配額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 |
| 購入時手数料 | 手数料率は3.675%（税抜3.5%）を上限とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | かかりません。 |
| 運用管理費用（信託報酬） | 純資産総額に対して年率1.7535%（税抜1.67%）がかかります。 |
| 販売会社 | SMBC日興証券株式会社 |

日興JFアジア・ディスカバリー・ファンド(以下、「当ファンド」または「ファンド」といいます。)は、国内外の株式を主な投資対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

ご注意していただきたい事項について

- 継続申込期間中、香港証券取引所の休業日(半休日を含みます。)および委託会社が別途指定する日には、購入・換金の申込みの受付は行いません。

ファンドの主なリスク

ファンドは、主にアジア各国の株式に投資しますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、ファンドは預貯金とは異なり、一定の投資成果を保証するものではありません。

下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

- 株価変動リスク
株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。
- 為替変動リスク
ファンドは、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。
- カントリーリスク
アジア各国における新興国には以下のようなリスクがあり、その影響を受け投資資産の価値が変動する可能性があります。
 - 先進国と比較して一般的に政治、経済、社会情勢等が不安定・脆弱な面があり、株式や通貨の価格に大きく影響する可能性があります。
 - 株式・通貨市場の規模が小さく流動性が低いため、株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。
 - 先進国と比較して法規制の制度や社会基盤が未整備で、情報開示の基準や証券決済の仕組みが異なること、政府当局による一方的な規制導入もあることから、予期しない運用上の制約を受けることがあります。
 - 税制が先進国と異なる面がある場合や、一方的な税制の変更や新税制の適用がある場合があります。
- デリバティブ取引のリスク
ファンドは、デリバティブ取引を用いる場合があります。デリバティブ取引は、その他の投資手段と比較して、株価等の変動に対してより大きく価格が変動・下落することがあります。

ファンドの諸費用について

直接的に負担する費用

- ◎購入時手数料
手数料率は3.675%(税抜3.5%)を上限とします。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
(購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込))
収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。
- ◎信託財産留保額
かかりません。

信託財産で間接的に負担する費用

- ◎運用管理費用(信託報酬)
純資産総額に対して年率1.7535%(税抜1.67%)
- ◎その他費用・手数料
 - ・有価証券の取引等にかかる費用*
 - ・外貨建資産の保管費用*
 - ・信託財産に関する租税*
 - ・信託事務の処理に関する諸費用、その他ファンドの運用上必要な費用*
 - ・原則として、ファンドの目論見書の印刷に要する実費相当額*を、信託財産に日々計上します。
 - ・純資産総額に対して年率0.021%(税抜0.02%)をファンド監査費用とみなします。
 ただし、年間315万円(税抜300万円)を上限とします。

* ファンドの運用状況、保有銘柄、投資比率等により変動し、また銘柄ごとに種類、金額および計算方法が異なっておりその概要を適切に記載することが困難なことから、具体的に記載しておりません。また、目論見書の印刷に要する実費相当額は、実際にかかる費用が目論見書ごとに異なることから、具体的に記載しておりません。さらに、その合計額は、受益者がファンドの受益権を保有する期間その他の要因により変動し、表示することができないことから、記載しておりません。

費用等の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載しておりません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をご確認ください。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。

投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申し込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので必ずお受け取りの上、内容をご確認下さい。最終的な投資判断は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

◆投資信託委託会社

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会